

平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名	農免農道整備事業 手代森3期地区			事業コード	2955
担当課等	所属名	農林部 農政課		担当係名	
	課長名	小原俊彦	担当者名	玉川 光宏	電話番号

1. 事務事業の基本情報

総合計画体系	施策の柱	活力ある産業の振興	コード 5	施策	活力ある農林業の振興	コード 1
	基本事業	生産基盤の整備	コード 2	関連予算 費目名	一般会計 6款 1項 5目 農業基盤整備事業(003-01)	
	特記事項					
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 <input type="radio"/> 単年度繰返 <input checked="" type="radio"/> 期間限定複数年度			⇒ (21年度 ~ 28年度)		
事務事業の概要	手代森地区の物流輸送体系の合理化を図る農道整備のため、経営体育成基盤整備事業(通作条件整備型)手代森3期地区に対する負担金					
根拠法令等	土地改良法第91条第2項					
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)						
市内有数の果樹園地帯であるが道路網が未整備なため、物流輸送体系の合理化を図るとともに農村地域の生活道路として農道整備を望むもの。						
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか						
農業経営の向上が期待されている。						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどう変化したか。今後の見通しはどうか						
事業実施に向け、計画変更など法手続きが必要となっている。						

2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	受益者	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 受益者数	単位	人
				B.	単位	
				C.	単位	
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	22年度実績(22年度に行った主な活動) 事業計画調査 23年度計画(23年度に計画している主な活動) 計画変更の法手続き及び事業詳細設計	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. 事前協議	単位	回
				B. 負担金支出件数	単位	件
				C. 整備延長	単位	km
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	物流輸送体系の合理化を図るとともに農村地域の生活道路として農村環境の改善を図る。	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. 事業進捗率	単位	%
				【指標の性格: ● 上げる ○ 下げる ○ 維持する】		
				B. 整備済延長累計	単位	km
				【指標の性格: ● 上げる ○ 下げる ○ 維持する】		
				C.	単位	
				【指標の性格: ○ 上げる ○ 下げる ○ 維持する】		
⑦結果 (上位基本事業の意図:上位の基本事業にどのよう貢献するか)	生産性の向上が図られる 生活環境の改善が図られる	⇒	⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標)	水田面積(単位:ha)		
				畑地面積(単位:ha)		
				樹園地面積(単位:ha)		
				民有林面積(単位:ha)		

2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	受益者数	人	0	652	652	652	652	652	28年度 652
対象 指標B									年度
対象 指標C									年度
活動 指標A	事前協議	回	0	5	5	5	5	5	28年度 5
活動 指標B	負担金支出件数	件	0	1	1	1	1	1	28年度 1
活動 指標C	整備延長	km	0	0	0	0	0	358	28年度 1790
成果 指標A	事業進捗率	%	0	14	28	28	42	56	28年度 100
成果 指標B	整備済延長累計	km	0	0	0	0	0	358	28年度 1790
成果 指標C									年度

⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	*****
事業費	A	千円		750	750	750	1,200	13,584	*****
財源 内訳	④国	千円							*****
	⑤県	千円							*****
	⑥地方債	千円							*****
	⑦一般財源	千円	0	750	750	750	1,200	13,584	*****
	⑧その他	千円							*****
	合計(④~⑧)(=A)	千円		750	750	750	1,200	13,584	*****
	延べ業務時間数	時間		20	20	20	100	20	*****
	職員人件費(B)(臨時職員賃金は、事務費に含む)	千円	0	80	80	80	400	80	*****
	トータルコスト(A)+(B)	千円	0	830	830	830	1,600	13,664	*****


3. 事務事業の評価(See)

必要性評価	① 施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 結びついている	理由: 資材の流通合理化及び農作業の効率化が図られる。
	② 公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 妥当である	↳ 「妥当」とする理由: <input checked="" type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input type="radio"/> その他 理由:
	③ 対象の妥当性 対象の設定は現状のままでもいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくてよいですか？	<input type="radio"/> 拡大または絞る余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	↳ 「妥当」とする理由: <input checked="" type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input type="radio"/> その他 理由:
	④ 意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？	<input type="radio"/> 拡大または絞ることができる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	↳ 「妥当」とする理由: <input checked="" type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> その他 理由:
有効性評価	⑤ 成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	<input type="radio"/> 向上余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 向上余地がない	理由: 平成23年度に事業精査による計画変更を予定している。
	⑥ 廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？	<input type="radio"/> 影響がない ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 影響がある	その内容: 資材の流通合理化及び農作業の効率化という目的が達成できなくなる。
	⑦ 類似事務事業との関係 類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありますか？	<input type="radio"/> 類似事業がある <input checked="" type="radio"/> 類似事業がない	事業名: ※類似事業がある場合、その事務事業と統廃合又は連携を図ることにより成果向上はできませんか？ 統廃合・連携検討 <input type="radio"/> できる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> できない 理由:
効率性評価	⑧ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できる余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 平成23年度に事業精査による計画変更を予定している。
	⑨ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 負担金の支出及び協議に必要な時間数である。
公平性評価	⑩ 受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 整備完了後は、市の財産として管理するものである。
	⑪ 費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 国・県・市の負担割合を定めて実施している事業である。

4. 事務事業の改革案(Plan)

改革 改善 方向	①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など) ※複数ある場合は、代替案その1、代替案その2とすること
	②改革、改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか？ それをどう克服していきますか？ (関連部門や全庁的な調整の必要性、トップへの要望も含む)

5. 課長意見

一次 評価	(1)一次評価者としての評価結果	(2)全体総括(振り返り、反省点)											
	<table border="0"> <tr> <td>① 必要性</td> <td>● 妥当</td> <td>○ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td>● 妥当</td> <td>○ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td>● 妥当</td> <td>○ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td>● 妥当</td> <td>○ 見直し余地あり</td> </tr> </table>	① 必要性	● 妥当	○ 見直し余地あり	② 有効性	● 妥当	○ 見直し余地あり	③ 効率性	● 妥当	○ 見直し余地あり	④ 公平性	● 妥当	○ 見直し余地あり
① 必要性	● 妥当	○ 見直し余地あり											
② 有効性	● 妥当	○ 見直し余地あり											
③ 効率性	● 妥当	○ 見直し余地あり											
④ 公平性	● 妥当	○ 見直し余地あり											
今後の 方向性 と改革 改善案	(3)今後の事務の方向性(改革改善案)												
	<table border="0"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 終了</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 継続</td> <td rowspan="3" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 </td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 廃止</td> <td><input type="checkbox"/> 休止</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> </tr> </table>		<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止						
<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携											
<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止												
													
<p>方向付けの理由と改革改善の内容</p> <p>県営事業着手に向けて、県及び地元と連携して整備を推進する必要がある。</p>													